

芸術の力で世界の人びとの心をつなぎたい

ミュージカル俳優の卵

天久 恵子

さん 創価女子短期大学卒業



創価女子短期大学は、「知性と福德豊かな女性」「自己の信条をもち人間共和をめざす女性」「社会性と国際性に富む女性」を建学の指針とし、教養あふれる聡明な女性の育成を目標としています。国際教育、キャリア教育に力を入れ、多くの卒業生が国内外で幅広く活躍しています。

日本で唯一、地上戦を経験した沖縄——人々の平和を願う気持ちはひとときも強い。そんな沖縄で生まれ育った天久さんがミュージカル俳優を目指したきっかけは、中学生のとき、韓国の劇団シンシ・ミュージカル・カンパニーの公演を見たことだった。言葉はわからなくても、俳優たちのパワフルな歌とダンスは劇場を大きな感動で満たした。

「芸術の力はすごい！文化や言葉の違いを超えて、こんなにも人々の心をつないでくれる。私もこんな仕事が見たい」

この感動を世界中の人々と共有できれば無益な争いもなくなるのではないかと、そう思ったという。幼いころから歌とダンスが大好きで、四歳からバレエを始め、中一のとときには県の音楽発表会で一位になった。歌とダンス、そして平和への願い、こうしたいすべ

てを実現する道がミュージカルだった。

天久さんは、地元の中学校を卒業すると、ダンスでは屈指の強豪校・関西創価高校に入学、高三の時、チームはみごと全国優勝の栄冠に輝いた。そして、世界で活躍するため英語をマスターしたいと創価女子短大の英語コミュニケーション学科に進む。

ワイダンスカンパニーのスタジオで

は厳しかったのですが、一年間でネイティブなみと言われるほど英語が上達しました。今では、どこに行っても、自信をもって話せます」

卒業後は、プロを目指し、劇団四季などに多くのミュージカル俳優を輩出したワイダンスカンパニーでレッスンを励む。アルバイトとの掛け持ち生活で体調を崩したこともあった。そんなとき、優しく寄り添ってくれたのは、沖縄の海と母だった。このほど、アメリカに本部があるNPO「ヤングアメリカンズ」のオーディションに合格、今秋には渡米する予定だ。ヤングアメリカンズは、世界各地で歌

やダンスの公演をしたり、子どもたちを対象にしたワークショップを開いて、その可能性を伸ばす活動をしたりしている団体で、様々な国・地域の若者が所属し、その活動を追ったドキュメンタリーはアカデミー賞も獲得している。「芸術で人と人をつなぐという私の夢にぴったりだと思いました。創立者は、『一流の美に触れるとき誰もが（人間）に立ち戻る』とおっしゃっています。私の歌やダンスで大変な思いをしている人々の心に希望の灯をともしたい。まだ夢への扉の前に立っただけですが、この道を進んでいくことが私の使命だと思っています」

くじけそうになった時は、短大歌「誉れの青春」の一節を口ずさむ。「翼を広げよ白鳥は 誓いの空をば 世界まで」。天久さんの挑戦は始まったばかり。

あめく・けいこ／一九九一年、沖縄県那覇市生まれ。関西創価高校三期卒業（ダンス部在籍中の二〇〇九年、全国大会優勝）。創価女子短期大学二六期卒業。

Amedu Keiko

創価大学

創価女子短期大学

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
Tel.042-691-2215 http://www.soka.ac.jp/

Soka Report | 創立者の軌跡 | 平和・文化・教育の世紀へ 37



創価大学の創立者・池田大作先生は教育・平和・人権などをテーマにトインビー博士やアンドレ・マルロー氏、ローマクラブのベッチェイ博士など、世界の学識者との対話を半世紀以上続けている。アーティストとの親交も深く、世界的なジャズ・ピアノ

ストのハービー・ハンコック氏（写真）と同じくサックス奏者のウェイン・ショーター氏とは40年来の友人。2010年、その集大成として行われた鼎談は、『ジャズと仏法、そして人生を語る』と題し毎日新聞社より刊行されている。